

弾道ミサイルから 身体・生命を守るために



▶弾道ミサイルは発射からわずか10分以内に着弾する可能性があります。

▶ミサイルの激しい爆風や破片から身を守るためには

- ① 国から伝達される緊急情報を即座に受け取る。
- ② 直ちに身の安全を守る行動をとる。

① 緊急情報を受け取る

弾道ミサイルが大阪に飛来する可能性がある場合、国から市町村、通信事業者や放送事業者を通じて様々な手段で緊急情報を伝達します。



テレビ、ラジオ

放送事業者がJアラートを受信し、テレビ、ラジオで緊急情報を放送します。



携帯電話・スマートフォン

国から携帯電話会社にJアラートが連携され、緊急速報メール、エリアメールが配信されます。

大阪防災アプリ・危機管理室X



大阪市では、大阪防災アプリ、危機管理室Xでも受信した緊急情報の発信を行っています。アプリのダウンロード、Xの登録は、裏面をご覧ください。

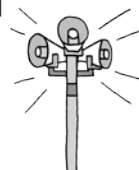


防災スピーカー

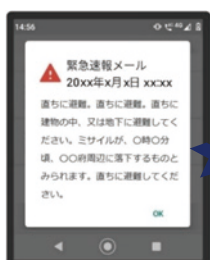
防災行政無線により、市内各地の防災スピーカーから、サイレンと音声で緊急情報を伝えます。

防災スピーカーから流れる国民保護サイレン音

国民保護サイレン音は内閣官房国民保護ポータルサイトで試聴できます。
どんな音かをぜひ知っておいてください。



弾道ミサイル落下時に国から発信されるJアラートの内容（例）



直ちに避難。直ちに避難。
直ちに建物の中、又は地下に避難してください。
ミサイルが、〇時〇分頃、〇〇周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。